

11億円って想像のつかない金額ですけど、まことにとっては多いんですか？ 少ないんですか？



三位一体の改革の時、地方交付税は、前年に比べて約4億円減りました。その減った金額を3つの基金等を下ろすことで賄うとすれば、わずか3年で無くなってしまふことになりまから、11億円は、決して多い額とは言えないんです。



もしもの時に3年で貯金が無くなってしまふかもしれないなんて不安ですね。市の財政は、決して安心できる状態にないという意味がよくわかりました。

市の財政は 今後どうなるのでしょうか？

聞けば聞くほど暗い気持ちになってきますね……。



私たちの将来、今後授かるであろう子どものことを考えると心配になってしまいます。



でも明るい要素もあるんですよ。市は、長い間、過去に建てた大型施設の借金返済に苦しんできましたが、今後数年間でその借金返済も終了する予定です。



大型施設の借金返済が終われば、市の財政運営にも少しは余裕が出るんですね！



ただ、そうとも一概には言えないんです。というのも、市民の皆さんからの税金は、景気低迷や人口減少の影響で、大きな伸びは望めないばかりか、長い目で見れば減少していくでしょう。また、国からの地方交付税も、国の厳しい財政状況を考えれば、いつ減額されるかわからない状況にあります。



借金返済が減る以上に収入が減ってしまうかもしれないということですね……。



そうですね。また、収入が減るだけでなく、市民の高齢化を背景に、医療や介護に多くのお金が必要になっていくことが予想さ

れるほか、老朽化した公共施設を多く抱えているため、今ある施設の建て替えや改修にも力を入れていかなければなりませんので、決して余裕が出るとは言えないんです。



子どもたちが大きくなって、私たちが老後を迎えるころ、まちは大丈夫でしょうか……。



もちろん、市も手をこまねいているだけではありません。数年先までの財政の見通しを立てて、計画的なやりくりをしたり、収入に見合った支出とするために予算の作り方を工夫しているほか、市の事業のやり方を今まで以上に無駄のないものにするため、計画を立てて取り組んでいるんです。



市は、このまちが健全な財政状態を保ち、将来にわたり安心して暮らせるまちであるよう、さまざまな取り組みを行っているんですね。



そうですね。私たち市民は、市がそうした努力を継続し、より慎重



ポイント

財政健全化に向けた取り組み

市は、平成22年度から平成25年度を期間とする中期財政見通しに基づき、計画的な財政運営を行っています。

見通しでは、期間内の4年間に累積で約7.7億円の赤字が生じることが見込まれました。

このため、現在、市は、これまで取り組んできた歳出圧縮や歳入確保に引き続き努力するとともに、行財政改革実施プランに基づき、より効率的な行財政運営を目指して取り組みを進めています。

また、予算編成においても、各部に配分枠を設け、創意工夫を促す仕組みを新たに導入することにより、より効果的に施策を推進するとともに、歳入に見合った歳出規模を確保するよう努めています。

なお金のやりくりをするよう見守っていかねければなりません。

まちの台所事情に興味を持ってきました。家に帰ったら、市のホームページをチェックします！

私たちの将来、そして今後授かるであろう子どもたちのためにも、市の台所事情を見守っていかねければなりませんね。今日は本当にありがとうございました。

いえいえ。お二人が少しでも、市の財政に興味を持ったのなら何よりです。それではこれで失礼。

大鬼さん、あのおじさん、どこかで見たことない？

実は僕もそう思っていたんだよ。どこかで会ったかなあ……。

あっ、前に新聞で見たような気が！

あっ、前にインターネットの議会中継で見たような気が！

あのおじさん、市長じゃない？！

あのおじさん、市長じゃない？！